

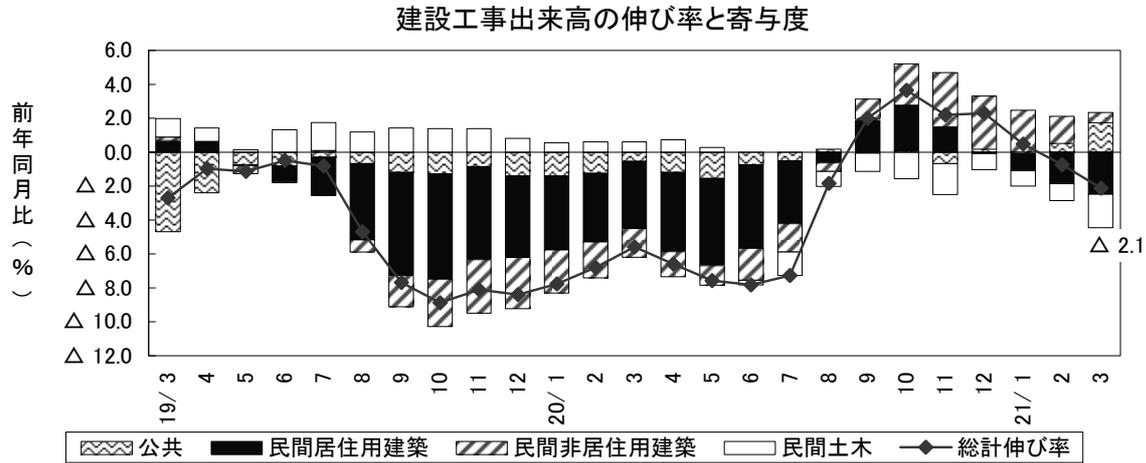
# 1. 建設投資の概況

## (1) 建設工事出来高

3月の建設工事出来高は、全体で4兆4,191億円と前年同月比2.1%減少した。

公共は、建築が2,115億円（前年同月比11.9%増）、土木が1兆5,920億円（同3.6%増）となり、全体では1兆8,035億円（同4.5%増）となった。

民間は、建築が1兆9,939億円（前年同月比4.1%減）、土木が6,218億円（同12.6%減）となり、全体では2兆6,156億円（同6.2%減）となった。



(単位：億円)

区分		総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
年度	18年度	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	63,665	175,608
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	68,969	169,927
	20	491,749	322,516	258,227	168,924	89,302	64,290	169,232
月次	20年12月	48,182	29,375	23,522	15,250	8,272	5,852	18,808
	21年1月	37,751	22,870	18,269	11,725	6,545	4,600	14,881
	2	40,233	24,498	19,392	12,388	7,003	5,107	15,735
	3	44,191	26,156	19,939	12,685	7,254	6,218	18,035

(前年比・%)

年度	18年度	△1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△11.0
	19	△5.4	△6.4	△9.6	△9.9	△9.1	8.3	△3.2
	20	△1.8	△2.4	△1.3	△4.0	4.4	△6.8	△0.4
月次	20年3月	△5.6	△7.9	△11.5	△12.1	△10.3	4.3	△1.5
	4	△6.6	△8.0	△11.2	△12.7	△8.2	5.7	△3.7
	5	△7.6	△8.2	△10.4	△12.6	△5.9	2.1	△5.8
	6	△7.8	△9.6	△11.3	△12.2	△9.6	△1.9	△2.9
	7	△7.3	△9.2	△9.1	△9.4	△8.4	△9.7	△1.9
	8	△1.8	△2.9	△2.0	△1.7	△2.6	△6.5	0.6
	9	2.0	3.1	5.9	5.6	6.5	△7.5	△0.2
	10	3.6	5.6	10.3	8.0	15.0	△11.4	0.3
	11	2.2	4.7	9.8	4.6	21.3	△13.3	△1.7
	12	2.3	3.5	6.5	△0.2	21.7	△7.1	0.4
	21年1月	0.5	0.8	2.9	△3.4	16.6	△6.9	0.0
	2	△0.7	△2.0	△0.5	△5.7	10.3	△7.3	1.3
3	△2.1	△6.2	△4.1	△8.1	3.9	△12.6	4.5	
累計	4月～3月	△1.8	△2.4	△1.3	△4.0	4.4	△6.8	△0.4

資料：国土交通省「建設総合統計」

## (2) 公共機関からの受注工事

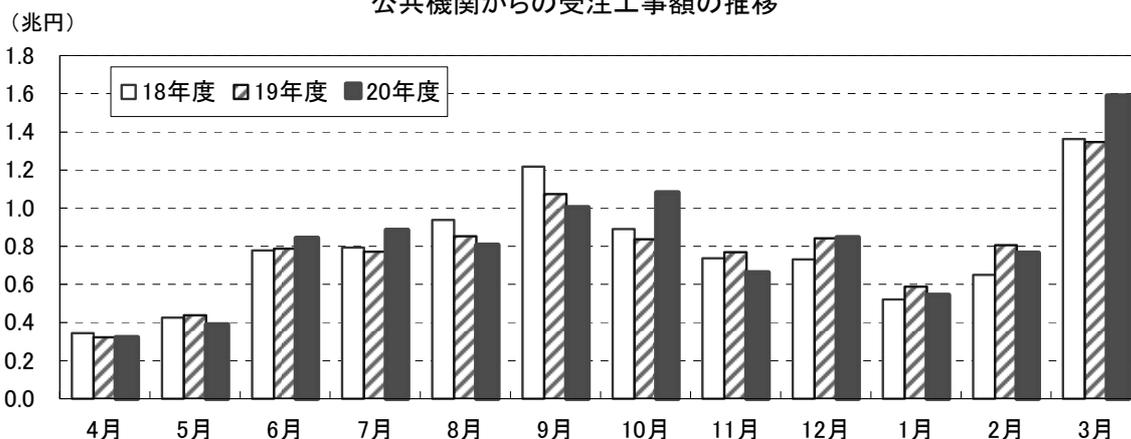
3月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は1兆5,898億円で、前年同月比18.1%増加（3ヶ月ぶり）した。うち国の機関からは9,245億円で同16.8%増加（5ヶ月ぶり）、地方の機関からは6,653億円で同19.8%増加（2ヶ月連続）した。

工事分類別でみると、道路（前年同月比15.3%増、寄与度+5.8）、治山・治水（同30.1%増、寄与度+3.6）等が増加し、鉄道・軌道（同11.0%減、寄与度-0.8）、港湾・空港（同14.0%減、寄与度-0.8）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、国の道路（寄与度+4.5）、国の住宅・宿舍（寄与度+3.1）等のプラスの寄与度が大きい。

3月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比46.3%増加（3ヶ月ぶり）した。

公共機関からの受注工事額の推移

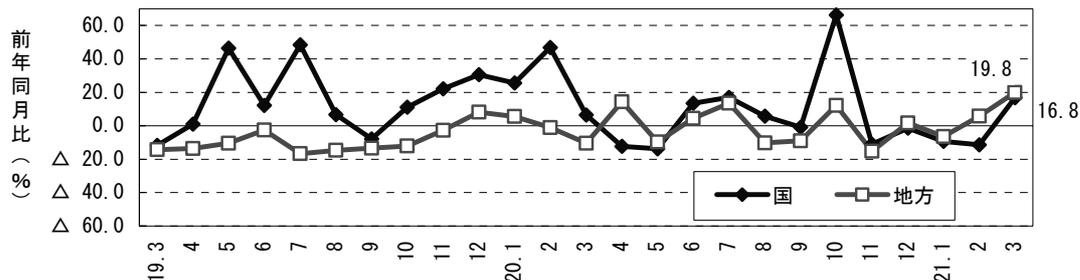


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年度	18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	△ 18.5	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8
	19	0.5	16.9	8.7	29.7	△ 8.0	△ 2.8	△ 11.4	△ 2.5	△ 33.5
	20	3.3	6.5	7.9	4.6	1.2	△ 0.8	2.2	1.2	14.0
月次	20年3月	△ 1.2	6.6	4.7	10.2	△ 10.5	△ 11.4	△ 2.8	△ 13.3	△ 47.6
	4	0.1	△ 12.3	△ 12.7	△ 11.8	14.3	△ 12.4	18.5	51.9	57.1
	5	△ 11.1	△ 13.8	26.1	△ 38.8	△ 9.7	△ 37.4	1.5	40.6	△ 3.7
	6	7.1	13.5	△ 35.2	88.3	4.5	9.9	0.1	5.4	24.2
	7	14.7	17.0	21.1	11.9	13.5	6.5	22.5	△ 14.7	55.4
	8	△ 5.4	5.8	△ 9.6	31.1	△ 10.3	△ 9.2	△ 1.7	△ 42.4	△ 27.2
	9	△ 6.4	△ 0.9	2.1	△ 4.6	△ 9.0	△ 4.9	△ 4.7	△ 33.7	△ 38.6
	10	29.2	66.4	45.3	94.0	12.2	19.2	5.8	15.1	△ 12.2
	11	△ 13.9	△ 10.9	△ 0.5	△ 20.3	△ 15.3	△ 5.4	△ 20.5	△ 37.9	△ 36.9
	12	0.5	△ 1.5	21.0	△ 18.9	1.7	△ 11.5	5.6	61.0	14.5
	21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 11.8	△ 6.2	△ 6.5	△ 10.7	△ 7.9	32.0	13.1
	2	△ 4.9	△ 11.4	△ 8.5	△ 15.7	5.7	△ 2.2	8.4	△ 6.0	98.3
	3	18.1	16.8	27.4	△ 3.2	19.8	19.0	11.6	43.4	74.2
累計	4月～3月	3.3	6.5	7.9	4.6	1.2	△ 0.8	2.2	1.2	14.0

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
19年度	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,609
20	97,405	39,793	57,612	25,977	117,951	169,232	200,738
20年Ⅱ期	15,555	5,386	10,170	4,045	28,444	31,682	37,753
Ⅲ	26,965	9,034	17,932	5,223	33,180	36,741	44,764
Ⅳ	25,897	9,567	16,329	6,590	27,990	52,157	61,670
21年Ⅰ期	28,988	15,807	13,181	10,119	28,338	48,651	56,552
20年10月	10,818	4,372	6,446	3,016	11,697	16,114	
11	6,621	2,273	4,349	1,259	8,443	17,236	
12	8,457	2,923	5,535	2,315	7,850	18,808	
21年1月	5,432	2,138	3,295	1,248	6,019	14,881	
2	7,658	4,424	3,234	2,476	6,349	15,735	
3	15,898	9,245	6,653	6,394	15,969	18,035	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
19年度	0.5	16.9	△ 8.0	0.8	△ 4.1	△ 3.2	△ 4.1
20	3.3	6.5	1.2	23.5	0.1	△ 0.4	△ 1.4
20年Ⅱ期	0.5	△ 1.9	1.8	17.4	△ 8.4	△ 4.1	△ 4.2
Ⅲ	△ 0.1	6.5	△ 3.1	30.7	4.7	△ 0.4	△ 0.9
Ⅳ	5.8	17.4	0.0	58.3	△ 2.8	△ 0.3	△ 1.3
21年Ⅰ期	5.8	3.6	8.6	7.3	7.8	2.1	△ 0.0
20年3月	△ 1.2	6.6	△ 10.5	△ 0.4	△ 12.6	△ 1.5	
4	0.1	△ 12.3	14.3	△ 3.3	△ 4.7	△ 3.7	
5	△ 11.1	△ 13.8	△ 9.7	△ 12.7	△ 9.6	△ 5.8	
6	7.1	13.5	4.5	44.0	△ 11.3	△ 2.9	
7	14.7	17.0	13.5	93.9	13.8	△ 1.9	
8	△ 5.4	5.8	△ 10.3	14.0	△ 6.0	0.6	
9	△ 6.4	△ 0.9	△ 9.0	2.7	5.5	△ 0.2	
10	29.2	66.4	12.2	242.0	△ 0.4	0.3	
11	△ 13.9	△ 10.9	△ 15.3	3.9	△ 2.8	△ 1.7	
12	0.5	△ 1.5	1.7	11.9	△ 6.4	0.4	
21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 6.5	△ 26.0	1.9	0.0	
2	△ 4.9	△ 11.4	5.7	△ 26.5	△ 2.8	1.3	
3	18.1	16.8	19.8	46.3	15.3	4.5	
4月~3月	3.3	6.5	1.2	23.5	0.1	△ 0.4	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

### (3) 住宅

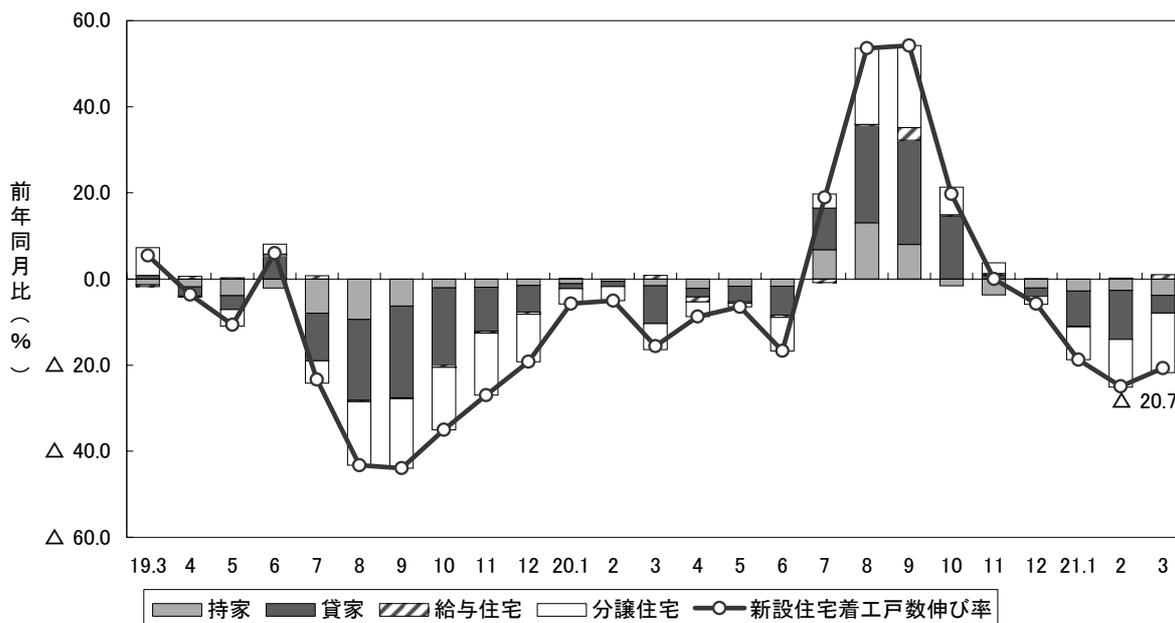
3月の着工は66,628戸。前年同月比でみると、持家、貸家、分譲住宅がともに減少したため、全体で20.7%減少（4ヶ月連続）となった。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成20年1-3月期1,129千戸（前期比14.1%増）、4-6月期1,115千戸（同1.2%減）、7-9月期1,102千戸（同1.2%減）、10-12月期1,031千戸（同6.4%減）、平成21年1-3月期887千戸（同14.0%減）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家	貸家	分譲住宅	マンション	季節調整済年率換算値 総戸数 (千戸)	
年度年月									
年	18年度	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8		
	19	1,035,598	△19.4	△12.3	△19.9	△26.1	△34.0		
	20	1,039,180	0.3	△0.4	3.2	△3.5	3.1		
月	20年3月	83,991	△15.6	△6.1	△22.0	△18.0	△22.2	1,118	
	4	97,930	△8.7	△7.8	△5.3	△10.4	△10.7	1,155	
	5	90,804	△6.5	△5.7	△8.6	△3.1	4.0	1,095	
	6	100,929	△16.7	△6.6	△15.1	△27.2	△36.5	1,109	
	7	97,212	19.0	23.1	22.7	12.7	15.9	1,097	
	8	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	128.8	1,098	
	9	97,184	54.2	19.9	66.9	82.8	217.6	1,109	
	10	92,123	19.8	△4.3	35.4	28.9	96.3	1,044	
	11	84,277	0.0	△11.7	1.7	11.0	43.3	986	
	12	82,197	△5.8	△7.3	△4.1	△7.5	5.0	1,001	
	次	21年1月	70,688	△18.7	△10.8	△18.4	△26.4	△25.1	957
		2	62,303	△24.9	△9.9	△28.5	△34.4	△35.6	866
	3	66,628	△20.7	△13.1	△11.2	△42.1	△47.8	888	
累計	4月～3月	1,039,180	0.3	△0.4	3.2	△3.5	3.1	—	

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

3月の着工は 21,295 戸。沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 13.1%減少（6ヶ月連続）した。

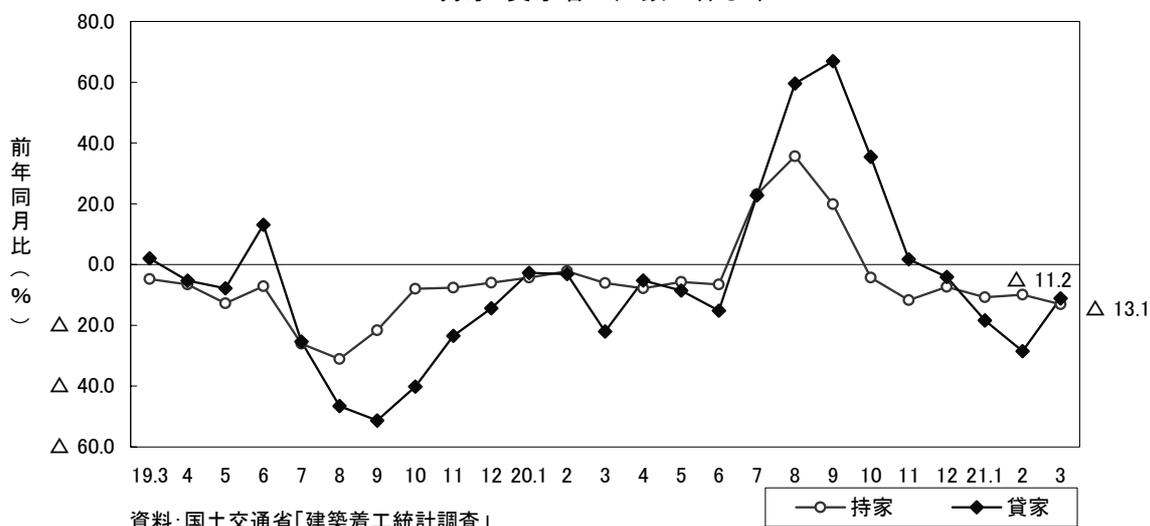
<貸家>

3月の着工は 27,492 戸。関東及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 11.2%減少（4ヶ月連続）した。

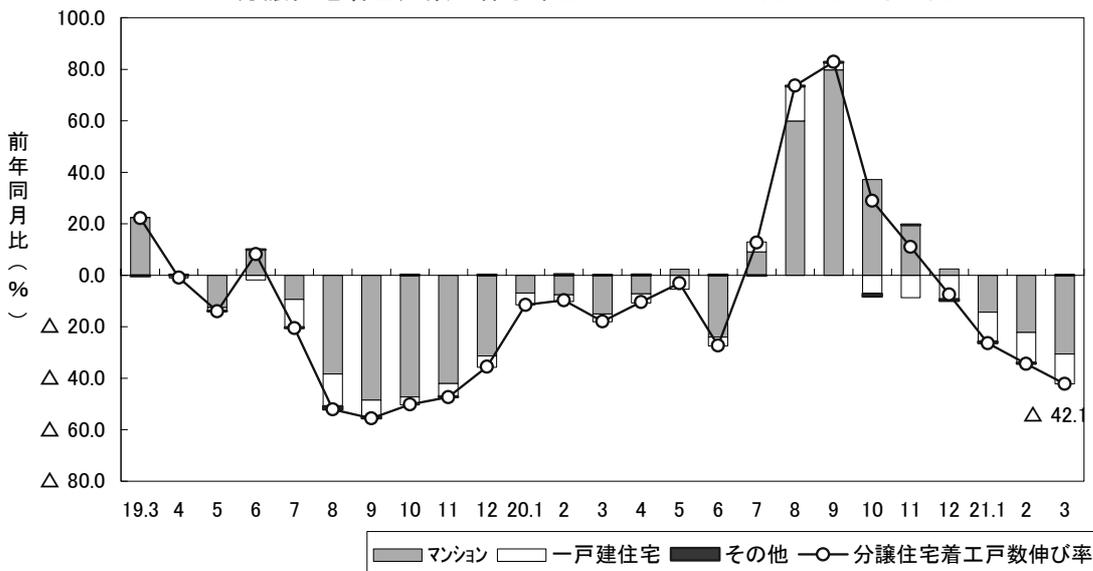
<分譲>

3月の着工は 15,911 戸。東北では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 42.1%減少（4ヶ月連続）した。マンションは 9,184 戸で、首都圏は減少（4,734 戸、前年同月比 52.4%減、3ヶ月連続）、中部圏は増加（596 戸、同 72.8%増、2ヶ月ぶり）、近畿圏は減少（2,338 戸、同 44.1%減、4ヶ月連続）、その他の地域は減少（1,516 戸、同 51.1%減、3ヶ月連続）し、全体では同 47.8%減少（3ヶ月連続）した。一戸建住宅は 6,632 戸で、同 32.5%減少（6ヶ月連続）した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



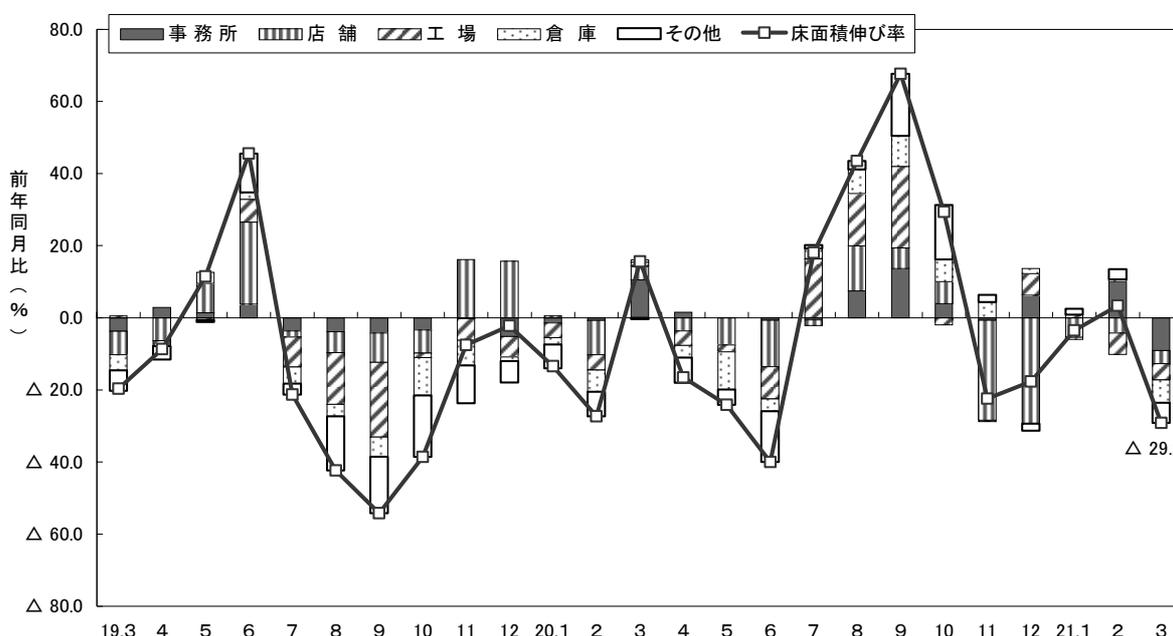
#### (4) 民間非居住建築

3月の着工床面積は342万㎡で、前年同月比29.2%減少(2ヶ月ぶり)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は51万㎡で前年同月比46.3%減少(4ヶ月ぶり)、店舗は68万㎡で同20.4%減少(5ヶ月連続)、工場は85万㎡で同20.4%減少(2ヶ月連続)、倉庫は29万㎡で同51.0%減少(2ヶ月ぶり)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成21年3月実施)で平成21年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比13.2%減少(平成20年度前年度比2.4%減少)となり、非製造業(大企業)は同2.7%減少(平成20年度同3.8%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は23、「先行き」は21となり、設備過剰感は大幅に高まっている。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	18年度	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
	19	△ 12.2	△ 5.2	14.9	△ 21.9	△ 19.1	△ 8.3	3.2	13.6	△ 15.1	△ 13.4
	20	△ 7.6	14.8	△ 36.3	4.7	△ 4.6	11.7	33.3	△ 24.9	35.2	13.9
月	20年3月	15.7	85.3	22.8	4.4	5.0	36.8	142.2	29.0	30.9	△ 1.3
	4	△ 16.6	10.6	△ 23.4	△ 18.1	△ 23.5	△ 5.6	26.6	△ 33.0	△ 4.5	△ 5.9
	5	△ 24.1	0.3	△ 37.8	△ 9.5	△ 49.7	3.7	6.4	△ 17.8	4.8	△ 27.9
	6	△ 40.0	△ 7.6	△ 49.5	△ 41.9	△ 29.1	△ 33.6	4.9	△ 44.6	△ 26.6	△ 13.4
	7	18.0	△ 6.6	△ 7.8	81.3	20.3	76.9	16.1	1.6	336.4	13.0
	8	43.5	75.7	107.1	77.6	32.6	64.0	88.4	169.5	109.2	96.2
	9	67.6	137.9	35.7	149.6	52.0	65.9	115.7	48.7	165.4	72.6
	10	29.4	34.3	52.4	△ 5.8	75.0	36.0	58.1	106.0	8.8	97.0
	11	△ 22.4	△ 6.5	△ 71.8	△ 1.7	66.4	△ 7.9	27.2	△ 64.2	△ 5.4	61.1
	12	△ 17.7	74.3	△ 77.5	33.7	13.8	8.0	117.5	△ 70.2	62.3	26.5
	21年1月	△ 3.5	0.2	△ 24.8	4.8	△ 3.3	17.1	18.3	△ 25.7	50.6	8.0
	2	3.3	72.8	△ 25.3	△ 24.6	5.2	36.7	121.6	△ 21.4	△ 17.4	21.7
3	△ 29.2	△ 46.3	△ 20.4	△ 20.4	△ 51.0	△ 24.8	△ 37.3	△ 13.6	△ 38.5	△ 45.4	
累計	4月~3月	△ 7.6	14.8	△ 36.3	4.7	△ 4.6	11.7	33.3	△ 24.9	35.2	13.9

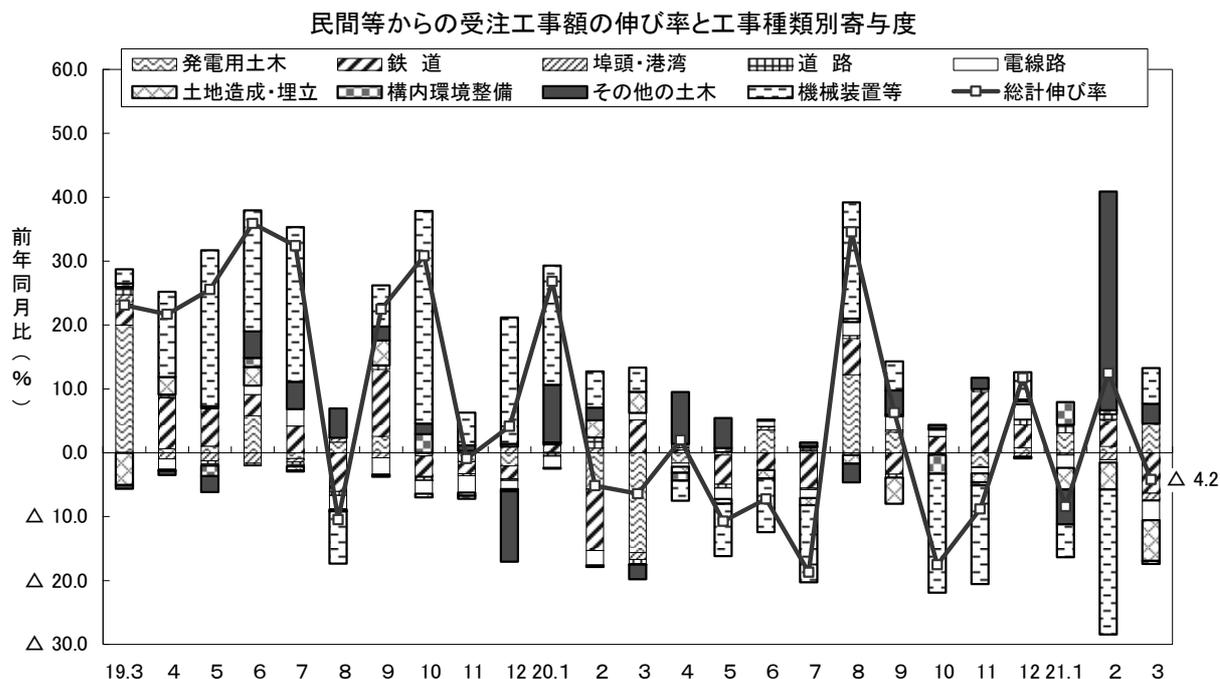
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

3月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は4,403億円で、前年同月比4.2%減少（2ヶ月ぶり）した。

発注者別で見ると、電気・ガス・熱供給・水道業（前年同月比60.1%増、寄与度+11.0）、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業（同13.5%増、寄与度+0.3）等が増加し、運輸業、郵便業（同17.7%減、寄与度-5.8）、製造業（同14.6%減、寄与度-3.6）等が減少した。

工事種類別で見ると、機械装置等工事（寄与度+5.6）、発電用土木工事（寄与度+4.6）等が増加し、土地造成・埋立工事（寄与度-6.4）、鉄道工事（寄与度-6.3）等が減少した。

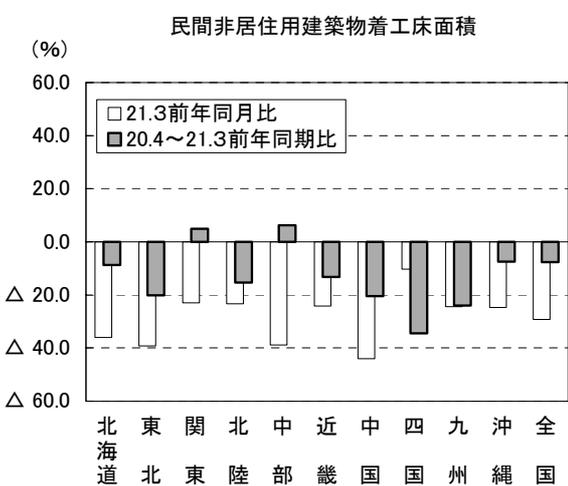
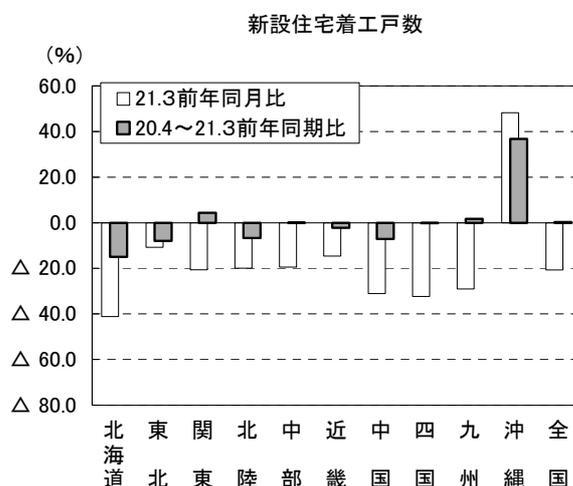
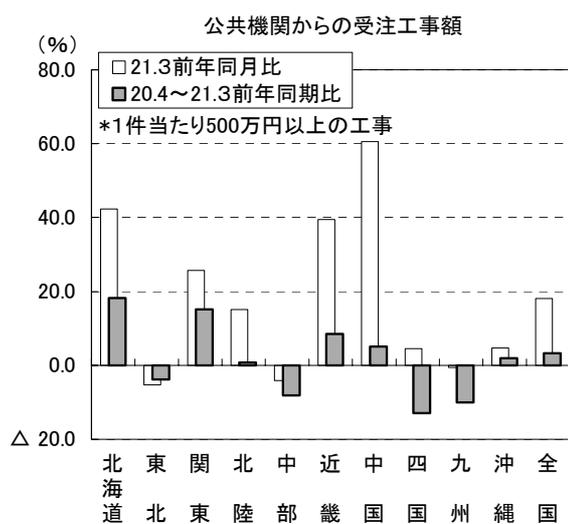
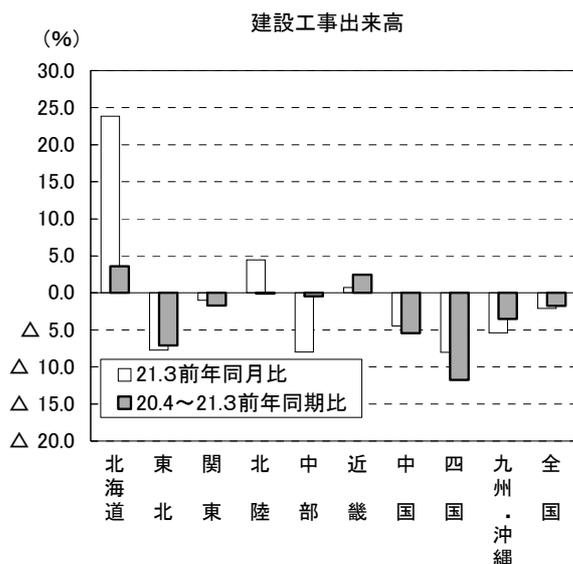


(前年比・%)

区分		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年度	18年度	13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
	19	12.5	△ 39.8	7.7	△ 23.0	△ 9.7	△ 7.2	18.1	3.1	35.1
	20	△ 1.7	68.8	△ 1.7	△ 22.9	21.3	△ 2.0	△ 30.3	0.8	△ 11.4
月次	20年3月	△ 6.4	△ 89.7	24.1	△ 42.3	△ 48.7	17.6	50.3	4.0	13.7
	4	2.0	△ 34.9	2.6	35.3	44.4	△ 3.7	△ 11.9	△ 28.9	△ 8.7
	5	△ 10.7	△ 13.5	△ 28.2	20.1	△ 40.5	△ 18.9	△ 10.8	23.0	△ 16.9
	6	△ 7.3	63.2	△ 18.4	47.3	5.7	8.6	△ 13.8	△ 2.0	△ 21.5
	7	△ 18.7	24.4	△ 39.8	△ 67.4	90.3	△ 7.1	△ 25.1	2.2	△ 27.7
	8	34.6	331.6	36.4	△ 22.0	41.2	21.9	△ 17.7	15.2	46.3
	9	6.3	48.9	△ 15.1	91.0	△ 28.6	29.2	△ 44.2	7.3	13.1
	10	△ 17.5	△ 5.2	27.4	3.8	△ 21.4	11.6	3.4	△ 57.4	△ 31.8
	11	△ 8.8	△ 47.6	86.5	△ 11.7	46.0	△ 9.6	△ 19.2	△ 16.4	△ 31.7
	12	11.7	34.1	27.2	△ 32.9	68.4	27.0	△ 3.6	14.9	8.5
	21年1月	△ 8.4	291.5	△ 0.6	△ 36.1	118.4	△ 15.1	△ 59.9	163.5	△ 12.2
	2	12.5	90.1	29.0	△ 80.1	39.5	△ 5.3	△ 50.3	26.0	△ 47.2
3	△ 4.2	238.6	△ 22.3	△ 70.7	△ 11.5	△ 38.6	△ 60.6	△ 24.1	16.5	
累計	4月～3月	△ 1.7	68.8	△ 1.7	△ 22.9	21.3	△ 2.0	△ 30.3	0.8	△ 11.4

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

## (6) 地域別動向



区分 地域	出来高		受注・着工			企業	雇用			
	建設 工事 出来高	公共機関	新設	民間非	民間等	建設業 倒産 件数	建設技能 労働者不足率		有効求人 倍率	
		受注	住宅	居住用 建築物	(土木・機械) 受注		(6職種計・原数値)			
	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月	3月		3月	
前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	%	前年差	倍	前月差	
北海道	3.6	18.2	△ 15.0	△ 8.8	△ 3.1	△ 50.0	△ 0.8	2.6	0.38	△ 0.06
東北	△ 7.1	△ 3.8	△ 8.0	△ 20.2	△ 12.2	△ 51.7	△ 4.1	△ 2.0	0.36	△ 0.02
関東	△ 1.7	15.2	4.5	5.0	△ 2.6	39.7	△ 2.5	0.2	0.60	△ 0.08
北陸	△ 0.1	0.8	△ 6.7	△ 15.4	55.8	18.2	△ 2.2	△ 1.1	0.52	△ 0.06
中部	△ 0.4	△ 8.1	0.1	6.2	4.2	50.0	△ 3.0	△ 1.9	0.54	△ 0.11
近畿	2.5	8.5	△ 2.2	△ 13.3	3.2	14.3	△ 3.5	△ 1.7	0.55	△ 0.06
中国	△ 5.5	5.1	△ 7.0	△ 20.5	△ 16.0	△ 56.0	△ 0.1	0.3	0.61	△ 0.06
四国	△ 11.7	△ 13.0	△ 0.2	△ 34.5	△ 38.3	20.0	△ 3.4	△ 3.6	0.58	△ 0.05
九州	△ 3.5	△ 10.0	1.8	△ 24.0	△ 20.6	0.0	△ 0.5	0.7	0.44	△ 0.02
沖縄	—	2.0	36.8	△ 7.4	△ 46.0	△ 50.0	1.2	0.3	0.30	△ 0.01
全国	△ 1.8	3.3	0.3	△ 7.6	△ 1.7	2.9	△ 2.4	△ 0.7	0.52	△ 0.07

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、  
 帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。  
 建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。  
 雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。